

活動名 子どもたちの『心の居場所』 -地域や社会全体で支えるために-	団体名	NPO法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション
	地域	広島県広島市
	代表者	理事長 上野 和子
	支援金額	40万円
活動概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・18歳までの子ども専用電話「ひろしまチャイルドライン」の電話の受け手を新しく養成するための「電話受けてボランティア養成講座」 ・すでに受け手として活動している人が「自分の聴く」を検討し、磨くための継続研修 ・受け手を支える支え手のための支え手研修 <p>◆実施時期： 2008年4月1日～2009年3月31日 広島市</p> <p>◆参加人数： 電話受け手養成講座 95名 電話受け手養成講座 95名 支え手継続研修 45名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 160名</p>		



《受け手ボランティア講座風景》



《野口体操研修風景》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

- ・中国8団体の連携による「日曜日を除く毎日かけられるチャイルドライン」をスタートさせることが出来ました。
- ・秋の全国キャンペーンでは広島県のアクセス数は13,000件。ダントツで全国1位を記録しました。
- ・開設して10年。広島を中心に福山、三次と開設場所を設けることが出来、新しい出会いが生まれました。
- ・受け手ボランティア講座を受講することにより、子どもに寄り添える大人が増えました。報告書を作り発表することにより、子どもの状況を伝えることが出来、子どもが安心して安全に育っていく環境創りに貢献しました。

◆苦勞した点

- ・今、沢山のアクセスがあり、一つでも多くの子ども達からの声を受け止めるために、一人でも多くの受け手を必要としていますのに、受け手ボランティアの養成講座の応募が少なく残念な思いがします。
- ・三次、福山、広島の受け手、支え手が一堂に会して、親睦を図り、語り合い、共通認識をもつことは、大切なことだと思われませんが、交通費等のこともあり現実できなかったのは残念です。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・広島県内の全ての子どもを対象に、電話代を気にせず、安心して毎日24時間いつでもつながるチャイルドラインの実現を目指します。とても大変なのですが、そのためにも人材の育成、資金の確保はとても大切なことだと思います。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・折角ご支援いただきましたのに「受け手が増えた」と胸を張っては言いがたい状況です。次回は「増員が図れた」と胸を張れるように、しっかり振り返りをして取り組みたいと思います。
- ・しかしながら、お陰様で受け手4人の増員は出来ました。ありがとうございました。
- ・受け手継続研修の「野口体操」は心と身体をほぐし、しなやかな心で相手を感じ、自分の感じる心を鍛え「聴く」を磨こうという、これまでにない面白い試みの研修となりました。